

## 平成 27 年度 国母保育園自己評価

A：たいへんよい B：よい C：一部検討を要する D：改善を要する

### 保育園の計画と編成と実施に関する評価

項目	内 容	評価	意見・改善策
保育目標について	(1) 保育園目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	B	リーダー会議を必要に応じて開き、各クラスへと情報の共有を図って行く事が出来た。また、職員会議では全体の検討会を開き、検討をすることが出来た。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を生かしているか。	B	
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	B	
	(4) 目標は、前年度の反省を生かしているか。	B	
	(5) 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	B	
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	A	各クラスの指導計画を毎月確認しながら、保育を実践していく事が出来た。 気になる事や問題点があれば会議の議題に挙げ、子どもの姿に合わせて内容を話し合っていた。
	(2) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	A	
	(3) 環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	A	
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。	B	
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	A	
日時程	(1) 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。	B	職員間で検討の結果、現状通り。
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。	A	各行事に責任者をつけ、計画から実践まで行う事で、職員も学びながら行事を運営する事が出来た。ハロウィンパレードでは、年々保護者の関心が強まった。地域の方も大変楽しみにしてくれている。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	A	
	(3) 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	A	
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	A	
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。	B	

項目	内容	評価	意見・改善策	
研究・研修	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	B	それぞれの立場的役割を年度の始めにクラス単位で面談をし、明確にしている。 自分の役割を考え行動し、中期・後期にも振り返りの時間を持つようにしている。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	B	
		(3) 職員の配置は適材・適所か。	A	
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	A	
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	B	適度な会議の場を持つ事が出来ている。個人的な意見が出しにくいと感じてる職員がいるので、出しやすい雰囲気を作って行きたい。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	A	
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。	A	
	年齢別・クラス運営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	B	月初めに保育目標の確認、終わりには反省と次月の保育内容の確認をする事で共通理解を持つ事が出来ている。 また、何か問題がある時や相談は主任を中心に副主任と話し合いの場を設けている。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	B	
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	B	
		(4) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	B	
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。	B	
		(6) 評価、資料（諸記録）を集積しているか。	B	
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	A	玄関ホールやクラス入口へ流行している病気等の情報掲示をしている。おたよりを配布することで更に情報を広めることが出来た。 交通安全教室を専門指導者のもと定期的に行っている。
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	A	
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	B	
		(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	A	
	所内研究・研修	(1) 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。	B	研修内容を検討し、それぞれの経験年数にあった研修への参加が出来た。保育に活かして行けるよう研修での学びを園内研修として報告を行う。互いの意見を出し合い深めていきたい。
(2) 所内研修の計画・運営は適切か。		B		
(3) 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。		B		
(4) 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。		B		
研究・研修	(1) 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	B	土曜保育が18時までとなり、研修へ参加できる職員が限られる。	

		(2) 各種研究会、研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	B	
情報について		(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	A	適切に処理をする事が出来た。
		(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	A	
		(3) 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	A	
施設・設備		(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	A	入口の出入りが可能な為、園庭での遊びの際の職員配置に配慮している。 不審者の情報がある場合は、園ぴゅうたで配信をし、保護者へ注意を呼びかける。
		(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	A	
		(3) 不審者等に対応する周知な配慮を行っているか。	A	
		(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	A	
出納経理		(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	B	税理士の方にサポートを委託。
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。	B	研修会では、他園との交流を深める事により、学びだけでなく互いの仕事に対する悩みや様子の交換が出来、良い交流の場となっている。 小学校へ行ったら、と期待が持てるように担任がどんな所か話をしたり、授業時間で実際にワークをしたり工夫が持てた。
		(2) 他施設等の乳児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	B	
		(3) 指導者同士が、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	B	
		(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。	B	
		(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。	B	
	家庭・地域社会との連携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。	B	日頃の保育をいつでも見て頂ける様に声を掛けていった。その他、写真付きで掲示し保育や行事の様子を見てもらい、毎回大変好評を得ている。 伝統行事は近隣の方に協力して頂き、子どもたちとの交流の場として地域の方々に協力して頂いている。
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。	B	
		(3) (乳) 幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	B	
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	A	
	子育て支援の		(1) 地域の保育園として、園庭や保育室等を開放しているか。	C
		(2) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子と一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。	B	

推進	(3) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。	C	て提供した。
	(4) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	B	
	(5) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	A	
情報発信	(1) 園だより・クラスだより、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	A	毎月園だよりやクラスだより等を通じて情報の発信に努めている。
	(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。	B	玄関ホールを利用し、写真の掲示を行い保育の様子を見てもらっている。
外部の評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		指摘事項があれば検討し、実施出来るように職員間で話し合って実行している。
	(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		